

# 平成30年度「学力・学習状況」検証事業研究成果報告書

市川市立第六中学校

## 1 学校紹介

市川市南東部の船橋市に隣接する地域を学区とし、最寄駅は JR 総武線の下総中山駅である。創立59年目を迎えた、19クラスの学校である。また、市川市内の中学校に2校併設されている日本語教室がある。

学校教育目標として、「やさしく たくましく 生きる人間に成長しよう」を掲げ、生徒は授業や学校行事、部活動等に積極的に活動している。

## 2 研究主題 「一人一人が主体的に学び・取り組み・行動できる生徒の育成」

～基礎・基本の定着を図り、生徒が意欲的に活動できる授業の在り方～

## 3 研究の概要

### (1) 生徒の実態と課題

今年度実施された全国学力・学習状況調査の結果は、以下のとおりである。

**国語**・国語AはH29年をのぞいて、例年全国平均を上回っている。国語Bは「読むこと」以外は全国平均を下回っている。特に「書くこと」に関しては3年連続全国平均を下回っている。

**数学**・数学の「資料の活用」は例年全国平均と開きがあり、本校生徒の弱みであったが、今年度は向上が見られた。「数学の授業で問題の解き方や考え方がわかるようにノートに書いている」という問いには、8割以上の生徒が肯定的回答をしており、自学する姿勢がノートづくりに見られる。

**理科**・3年おきの実施のため経年比較にはならないが、今年度は全国平均を上回っていた。実験計画や考察など、課題解決型の学習の充実を図る必要がある。

### (2) 学力向上のための取組とその成果

○数学における、2・3学年での習熟度別少人数授業→発表や質問が増加

○教科担任制という利点を生かすため、全教科において「書く力」を育成するにはどのようにすればよいかという点について具体的で実践可能な内容を検討→来年度以降検証

○生徒の主体的な学習を活発に行うための研修や授業研究→工夫した活動が増加

○「授業評価」の実施→具体的な授業改善事項の把握

○朝学習と小テスト  
放課後「校内塾 まなびくらぶ」} → 基礎・基本の定着

○地域人材の活用→体験的な学習やコミュニケーション力の向上



3年数学少人数指導  
(基本コース)

### (3) 加配教員（学習サポーターを含む）の活用とその成果

○2・3学年の数学科において習熟度別少人数授業を実施

「校内塾 まなびくらぶ」において自学自習の態度の育成

→  
・きめ細やかな指導  
・主体的な学習活動の増加



3年数学少人数指導  
(応用コース)

## 4 今後の課題

- ・全国学力学習状況調査に基づく職員の指導力向上と家庭学習の意識を高める。
- ・自己有用感の育成や夢を持つことのできる魅力的な学校づくりの推進。